

JADCA NEWS (一社) 日本空調システムクリーニング協会	発刊日 2025 年 7 月 1 日
	第 118 号

JADCA 事務局から会員企業・関連団体の皆様に JADCA NEWS を配信いたします。

1. 2025 年定時社員総会開催

6 月 3 日 (火) うめだMホール(大阪)にて定時社員総会を開催いたしました。
当日の様様をお知らせします。

第一部 2025 年度定時社員総会

司会の渡邊総務委員長より「本会が有効に成立した」との報告後、清水会長から開会挨拶があり、議案審議に入りました。

第一号議案 2024 年度事業報告と決算報告について特段の意義なく承認されました。

続いて 2025 年～2027 年理事会のご報告がございました。

役職	氏名	所属会社
会長	清水 晋	日本ウイントン（株） 常務執行役員 業務企画部長
副会長	今井 昭彦	（株）富士クリーン 代表取締役
副会長	末光 眞二	（株）エアーアンドウォーター 代表取締役
専務理事（技術部門）	花木 俊介	東亜管財（株） 経営統括部 部長
専務理事（総務部門）	高橋 耕一	（株）アキュアリンク 常務取締役
常務理事	大庭 孝仁	（株）オプス 常務取締役
常務理事	中村 一午	（株）クリーンシティ 代表取締役
常務理事	佐々木 良信	（有）日研 代表取締役
理事	小川 明彦	（株）アクス 代表取締役
理事	山田 晃也	赤門ウイレックス（株）代表取締役社長
理事	泉山 幸一	（株）空調保全工業 常務取締役
監事	樫森 幸男	（株）ジャパントーア 代表取締役
監事	水崎 和彦	（株）AP サプライ 代表取締役

次に各委員会より報告がありました。

1. 総務部門報告
2. 政策委員会報告
3. ビジネスモデル委員会報告
4. 微生物汚染対策検討委員会
5. 東京消防庁委託研究「火気器具上部に設置される排気ダクトの火災抑制方策に関する調査研究委託のまとめ」



第二部では大阪市消防局予防部消防司令補、的場尚也様より「大阪市での飲食店火災の現状火災予防の指導・対策について」ご講話を頂きました。

右の写真は油脂が固着した排気ダクトに係る燃焼実験映像とても興味深く拝聴致しました。

その後の懇親会では、近畿中四国支部長木下様の乾杯ご発声にて開宴し和やかな雰囲気が始まり盛会のうちに終えることができました。

また翌日は大阪定時総会レクリエーション企画、大阪・関西万博を視察しました。事前予約はなかなか難しく、予約無しで入れる世界各国を映像で旅をし、シンボルでもある大屋根リングからの素晴らしい景色を堪能してまいりました。



2.ダクト清掃作業監督者講習のご案内

ダクト清掃作業監督者講習

建築物衛生法において、建築物空気調和用ダクト清掃業の登録要件の一つになっているダクト清掃作業監督者資格のための講習です。この講習の主催は公益財団法人日本建築衛生管理教育センターです。詳細は、同センターにお問い合わせください。 TEL:03-3214-4627 (代表)

講習会ホームページ: <http://jahmec.or.jp/koushu/dakuto.html>

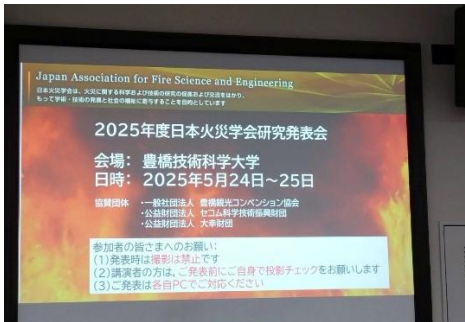
【新 規】

地区	日程	会場
関東	2025 年 9 月 16 日(火)～19 日(金)	ワイム貸会議室高田馬場 東京都新宿区高田馬場 1-29-9TD ビル 3 階

【再講習】 開催

地区	日程	会場
関東	2025 年 7 月 2 日(水)～3 日(木)	ワイム貸会議室高田馬場 東京都新宿区高田馬場 1-29-9TD ビル 3 階

3.JADCA 活動のご報告 4月～6月

日時	内容	会場
4月14日(月)	ビジネスモデル委員会	オンライン研修 (ZOOM)
4月24日(木)	空調システム診断士更新研修	オンライン研修 (ZOOM)
5月13日(火)	厨房委員会 ワーキンググループ	浅草観光文化センター
5月20日(火)	JADCA 東西関東支部コンペ 	太平洋佐野ヒルクレスト(栃木)  優勝：日本ウイントン小室様
5月23日(金)	微生物汚染対策検討委員会	JADCA 新橋事務所
5月24日25日	2025年日本火災学会研究論文発表 	豊橋技術科学大学 東京理科大学 松山教授 東京消防庁 金野消防司令 JADCA シンポ(株) 小嶋様
5月27日(火)	キタックスエンジニアリング株式会社 見学会	キタックスエンジニアリング(株) 東京リサセンター
6月3日(火) AM	支部長会議	うめだMホール 大阪開催
6月5日(火) PM	2025年度 JADCA 定時社員総会・懇親会	うめだMホール 大阪開催
6月18日(水)	ビジネスモデル委員会	オンライン研修 (ZOOM)
6月24日(火)		顧問 国定勇人衆議院議員を ご訪問 その後総務省消防庁へご挨拶に ご同行頂きました。

6 月 24 日(火)	総務委員会	JADCA 新橋事務所
6 月 26 日(木)	評価認定委員会	JADCA 新橋事務所

4. JADCA 研修・活動計画 7 月～10 月

日付	内容	開催形式／会場
7 月 8 日(火)	政策委員会・理事会	スピーシー新橋
7 月 11 日(金)	厨房排気設備診断士更新研修	オンライン研修 (ZOOM)
7 月 28 日(月)	九州支部 支部会	はかた近代ビル会議室
8 月 25 日(月)	微生物汚染対策検討委員会	JADCA 新橋事務所
8 月 27 日(水)	JADCA 建築物環境衛生セミナー 「厨房排気設備に係る技術基準とその対応」	浅草橋ヒューリック&カン ファレンス 3 階ルーム 4
9 月 4 日(木)	空気調和用ダクト清掃作業従事者研修 1 年目	オンライン研修 (ZOOM)
9 月 16 日(火)	厨房委員会	浅草観光文化センター
9 月 18 日(木) 9 月 19 日(金)	空調システム診断士養成研修	オンライン研修 (ZOOM)
10 月 9 日(木)	空気調和用ダクト清掃作業従事者研修 2 年目以降	オンライン研修 (ZOOM)



会員企業 200 社 診断士 1000 名 達成プラン
JADCA 会員企業限定！2025 年度プラン

会員増強プラン・・・会員企業 紹介制度

- ・ 1 社紹介した会員企業には協力金として **10,000 円の商品券**を提供します。
- ※入会時に紹介会員企業へ商品券の提供

診断士増強プラン・・・会員企業 特別受講制度

- ・ 正会員企業は 1 年間で各養成研修
厨房診断士 1 名、空調診断士 1 名の受講料を**無料**にします。
※2025 年度 1 回目の講習 (9 月 19.20 日 空調・10 月 17.18 日 厨房)
※2025 年度 2 回目の講習 (2 月 19.20 日空調・3 月 5.6 日厨房)

会員企業会社見学会 キタックスエンジニアリング株式会社様



5月27日会員企業のキタックスエンジニアリング株式会社の東京リサセンター見学会が開催されました。こちらの施設ではリサフィルターという空調用フィルターの再利用をするための洗浄施設で、使い捨てが主流だった空調用の中・高性能フィルターを、超音波洗浄により、フィルター内部の微細な汚れまで徹底的に除去し、再利用を可能にする画期的なシステムで新規購入費用と廃棄処理費用を大幅に削減できるため経費節減40%を目指しているとのこと。またリサイクル限度を超えたりサフィルターをRPF（石油代替固形燃料）へ全量リサイクルを可能としゼロエミッションを実現。今回見学させて頂いたリサフィルターシステムは、環境に配慮しながらもコスト削減を実現し「お客様・社会・地球環境」に貢献できる企業理念を感じました。今回の開催にあたりお忙しいところご対応頂き大変お

世話になりました事心より感謝申し上げます。

<https://kitax.jp/business/sales-products/lisa-filter/> 詳しくはキタックスエンジニアリング(株)HPをご確認下さい。

JADCA建築物環境衛生セミナー開催のお知らせ

令和7年10月1日より運用される東京消防庁の指導基準とその対応についてのセミナー

このセミナーでは令和7年10月1日より運用される東京消防庁の通知、『火気器具上部に設置される排気ダクト等に係る技術基準』とその具体的な対応について解説していきます。

日時 8月27日(水) 14:00～16:45

会場 浅草橋ヒューリックホール&カンファレンス 3階ルーム 4

講演内容

火気器具上部に設置される排気ダクト等に係る技術基準について

東京消防庁□消防司令□金野□浩幸□氏

厨房排気設備の維持管理について

東亜管財株式会社□花木□俊介□氏

厨房排気設備の設置と点検の実例

シンボ株式会社□小嶋□寿夫□氏

お申し込みはコチラから⇒



映画を通して環境問題の今昔を知る

小山 富士雄（JADCA環境委員会委員長）

昨年から神奈川県立産業技術短期大学で2年生対象に環境概論の講義を担当することになった。このコラムの読者は、環境問題というと何を連想するだろうか。

戦前の事例では足尾銅山、別子銅山、日立銅山からの排煙による煙害が大きな環境問題となり、別子は瀬戸内海の島に精錬所の移設、足尾は排水や排ガスによる環境破壊、日立は山上の煙突が話題となったが、これらの現場の実態、なぜこのようなことが起きたか、被害者の悲惨な健康障害や生活実態について、今では小説や社会の教科書で知るしかない。

戦後10年は環境や安全を無視してのモノづくりの下で我々の生活が支えられてきたが、この中では作業者の健康問題に関連しての種々の労災が発生し、これに対応するために労働安全衛生法が制定されたのは周知の事実である。この時代の中核となった年代の方は、今や100歳以上になっており、生存している方も少ない。

我々が知っている環境問題は昭和40年代の公害問題から端を発する。当時は産業の高度成長に伴って発生した大気・水質の汚染（以前は考えられなかった）が、我々の健康問題に深刻な影響を与え、これに対応するために各種の公害規制法の策定や環境庁の設置が行われた。この時代のもう一つの出来事は、中東紛争による原油価格の急騰である。もっとも急騰といっても現在からみると一桁低いレベルであるが、これにより日本を挙げて省エネ・省資源が取り組まれることになった。

このあたりの事情は、著者のみならずJADCAの加盟各社の創業期に携わってきた方はよくご存じのことと思っている。

その後、日本人は円高、リオサミット、京都議定書、PRTR、リスク管理とリスクコミュニケーション、ISO9001、14001取得等を経験しながら現在に至ってきた。

一方、安全や災害対応では、阪神淡路大震災、東日本大震災に加えて、各地での直下型震災や集中豪雨と豪雪が問題となった。加えて、環境問題では化学物質管理、原発事故による放射能汚染と併せて、地球温暖化問題、循環型社会形成、SDGsがこのころからメディアでは大きく取り上げられている。JADCAの皆様もこの分野の取組について、顧客から厳しい対応を求められているので、周知のことと考えている。また、顧客の厳しい要求に対応し、JADCA加盟企業が自ら、環境改善の努力と共に経営改善や顧客の信頼確保のツールとしてJADCA版環境経営システムを構築し、これにより経営改善の成果を上げている。

今回の一連の講義の最初に、学生諸君が今一番問題と考える環境問題は何かと質問したところ、大半の学生が地球温暖化問題と答えた。では、オイルショックや京都議定書を知っているかと尋ねると、答えが返ってこない。これらは学生諸君が生まれる前の出来事だからやむを得ないかもしれない。また、SDGsに関連して、身の回りの環境問題、世界各地での環境汚染や自然破壊、貧困や食料や水の確保についても知っている学生が少ないのには驚かされた。現在の日本人を取り囲む、素晴らしい環境が築かれた背景には、これまでの日本人の努力の賜物であるが、学生諸君はあたりまえのものと思っており、これが案外知られていないことに、最初は驚いたものである。

このことは、以前教えていた、東大・東工大・横浜国大でも同じであった。

今、学生には現在の我々が直面している環境問題とは何か、の前に過去の歴史、例えば人類はエネルギーや火を使用することにより文明を発達させてきたこと、これにより豊かな生活が可能となったが、反面、大気汚染や水質汚染、廃棄物の不適切な処理、貧富の拡大が進んだこと、表面化した課題には都度対応してきたが、同時に文明や生活レベルの向上や新しい生産物の利用と廃棄に伴う新たな環境問題が発生することを強調して話している。そして、一連の講義の最後には、これまでの歴史や現実のモノづくり、不幸にして事故災害が発生した時に、人間がどのように対応しこれを切り抜けてきたかを学ぶことの重要性を話している。ここで強調したいのは、いくら文明が発展し工業化が進ん

だとしても、人間としてのものの考え方は変わらないという事である。この分野での教育材料として有効なのは映画である。映画は画像と音で頭に入ってくる一方、約2時間という、ほど良い時間で話が完結する。出来れば、この2時間を集中するために映画は映画館で楽しむことを推奨する。

現在、社会は安全・安心の中にどっぷり浸かっており、少しでも危険や不祥事が発生することは許されない。しかし、あまりにも安全・安心な環境の中で育った学生はどこに危険が潜んでいるか、万一の場合どのように対応すべきか、経験し学び考えたりする機会はないといっても過言ではない。これは、社会人にとっても共通した課題となってきた。

一方、企業には社会が安全・安心への取組やコンプライアンス、説明責任を過剰なくらいに求めており、対応を誤ると企業の存続が脅かされるのが現実である。

従って、企業（特に大企業）では、新入社員は当然として管理職に至るまで、危険体験・体感教育、各種危機管理教育やコンプライアンス教育を行っている。

映画では、五感のうち少なくとも目と耳で、実際の恐怖やなすべき行動、解決した時の満足感を体験できる。私が特に印象に残っているのは「シン・ゴジラ」である。これまで映画を馬鹿にしていた危機管理を専門にする某大学の先生に見ていただいたところ、日本の危機管理の実態について考えさせられたとのコメントを頂いたことである。

このコラムをご覧になっている皆様も、時にはご家族と映画を鑑賞いただければ如何であろうか。テーマが業務に関係しているものは役に立つのは当然であるが、一見無関係に見えても家族や友人とのコミュニケーション、時代の変化、新しい技術、世の中で問題となっている（なりそうな）こと、等々の得るものが多数あることがわかると思う。夏休み、家族旅行も大切であるが、時間があるときに、ご家族と、恋人や友人と映画を楽しんでみることをお勧めしてこの稿を終わることにする。



左上：関東森林管理局資料より、「荒廃した足尾地区山林」足尾地区三川ダム上流（左：仁田元沢中：松木沢右：久蔵沢）

右上：渡良瀬川遊水地 国土交通省より

左：現在の足尾周辺の山の姿

体験を身に着けるには

- 1 災害の実体験、被災、負傷等を体験することは不可能。
しかし、災害の怖さを知らなければ、考え方が甘くなる。
怖がりすぎでは何もできない。
- 2 主要企業では体験型研修を受講義務付け。現場体験・見学の機会を逃すな。
- 3 大規模災害とそれに直面したときにどのように対応するか。
現場での作業者は？ 組織の責任者は？ どうすれば良かったか？
自分自身の身を守るには？
- 4 事故災害をテーマにした映画、小説の重要性
最近の映画 シンゴジラ、海賊といわれた男、バーニングオーシャン
ハドソン川の奇跡、パトリオットデイ、フクシマ50
チェルノブイリ1986 フロント・ライン
小説 事故報告書に書かれていない当事者の思いが重要
- 5 身の回りで想定される事故・災害を常に考えてみよう

事務局 etcetera（エトセトラ）

皆さん、こんにちは。株式会社アドクリンの代表をしております安藤司と申します。現在は、山形県・宮城県・福島県において、ダクトのグリスフィルターメンテナンスと厨房排気設備清掃を行っております。私が仕事に込める思いは、「夢を思い描ける会社を創りたい」ということです。この業界の仕事は決して華やかな仕事とは言えませんが、仕事を通して喜びに満ちた豊かな人生を歩んでほしいと願っております。また、自分の子どもが自ら働きたいと思える会社を創りたいと考えています。



そこで取り組んだのが「働きがい改革」です。業務以外のオフの時間を活用し、社員のやる気を高める取り組みとして、マラソン大会の参加や登山、スポーツ観戦、懇親会などを積極的に行っています。今回は、その中でもマラソン交流事業についてお話しさせていただきます。

毎年参加している「さくらんぼマラソン大会」では、現在8名の社員が参加してくれるようになりました。仮装して走る人もいれば、5kmに参加する人、21kmに挑戦する人など、形はさまざまです。辛いことにあえて挑戦することで、「自分にはできない」と思っていた人も、ゴールした瞬間、大きな喜びと自信を手に行っているようです。現在では、5時間耐久リレーマラソンや長距離のウルトラマラソン、山を駆け抜けるトレイルマラソンに参加するなど、それぞれが自己の可能性に挑戦し楽し

く続けています。この「共に走る」という共通体験が、仕事にも良い影響を与えてくれていると感じております。

私事ですが、先月八ヶ岳野辺山ウルトラマラソン100kmの部に参加し、12時間30分で無事完走することができました！これからも社員に負けないように、仕事もマラソンも走り続けていきます。どうぞ宜しくお願い致します。

written 安藤司
(所属会社：㈱アドクリン)



編集後記

初めての大阪での定時社員総会が開催されました。2度目の地方開催になりましたが、全国から多数の方が参加していただき盛大に開催することができました。また議案審議に関しても皆様の協力により、スムーズに進行することができました。大阪市消防局予防部消防司令補、的場尚也様に講演していただき、東京消防庁管轄とは違う視点や、今まで見たことのない燃焼実験映像を見る事ができ、新しい発見ができました。2日目には大阪万博の団体視察が企画され、大変有意義な2日間になりました。会員企業の皆様におかれましては、今後とも JADCA の活動に参加頂ければ幸いです。



JADCA 事務局

〒105-0004 東京都港区新橋 1-12-9 新橋プレイス 7 階
: TEL 03-6274-6064 FAX 03-6274-6065
E-mail : info@jadca.jp URL : <http://www.jadca.jp/>